

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2006-48532 (P2006-48532A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-007
 【出願番号】特願 2004-231428 (P2004-231428)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 11/60 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 11/60 1 0 0 A

G 0 6 F 17/21 5 3 6

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のデータ領域を有するテンプレートのレイアウトを、該複数のデータ領域の各々に流し込まれるコンテンツデータに応じて動的に変更するレイアウト処理方法であって、

リンクで関連付けられたデータ領域の集合を抽出する抽出工程と、

前記抽出工程で抽出されたデータ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づく重み付けに応じて各データ領域の領域サイズを決定する決定工程と、

前記決定工程において決定された前記複数のデータ領域の領域サイズに応じて前記コンテンツデータをレイアウトして出力する出力工程とを備えることを特徴とするレイアウト処理方法。

【請求項 2】

前記決定工程は、計算されたデータ領域の領域サイズと、該データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差が、優先度の高いデータ領域ほど小さくなるように前記複数のデータ領域の各々の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 1 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 3】

前記決定工程において、算出された前記複数のデータ領域の各々の領域サイズと流し込まれる前記コンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差の比は、該複数のデータ領域の各々に設定された優先度の逆数の比となることを特徴とする請求項 2 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 4】

各データ領域に優先度を設定させるためのインターフェースを提示する設定工程を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のレイアウト処理方法。

【請求項 5】

指定されたデータ領域と、該指定されたデータ領域とリンクで関連付けられたデータ領域に設定された優先度を表示する表示工程を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のレイアウト処理方法。

【請求項 6】

指定されたデータ領域に設定された優先度を表示する表示工程を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のレイアウト処理方法。

【請求項 7】

前記決定工程は、

前記データ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求する第 1 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づいて各データ領域の該第 1 方向領域サイズを算出する第 1 算出工程と、

前記コンテンツデータが要求する第 2 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された前記優先度に基づいて各データ領域の該第 2 方向領域サイズを算出する第 2 算出工程とを備え、

前記第 1 算出工程で算出された前記データ領域の該第 1 方向領域サイズおよび前記第 2 算出工程で算出された前記データ領域の該第 2 方向領域サイズに従って、前記データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 1 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 8】

前記決定工程は、

前記データ領域において、縦横比が設定されて場合、前記第 1 算出工程で算出された前記第 1 方向領域サイズおよび前記縦横比から前記第 2 方向領域サイズを決定することを特徴とする請求項 7 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 9】

前記決定工程は、

前記データ領域において縦横比が設定されており、前記第 1 方向が垂直方向であった場合、前記データ領域における垂直方向の領域サイズの算出に応じて、前記データ領域における水平方向の領域サイズを算出する垂直・水平方向領域サイズ算出工程と、

前記第 1 方向が水平方向であった場合、前記データ領域における水平方向の領域サイズの算出に応じて、前記データ領域における垂直方向の領域サイズを算出する水平・垂直方向領域サイズ算出工程と、

前記垂直・水平方向領域サイズ算出工程または前記水平・垂直方向領域サイズ算出工程によって算出された前記データ領域の領域サイズから選択された領域サイズをレイアウト結果として設定するレイアウト設定工程とを有することを特徴とする請求項 8 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 10】

前記データ領域をレイアウトすべきレイアウト範囲として、前記データ領域を配置し、前記各データ領域を関連付けるリンクを設定したテンプレートを生成するテンプレート生成工程を更に有し、

前記決定工程は、前記テンプレート生成工程によって生成されたテンプレートに従って、前記各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載のレイアウト処理方法。

【請求項 11】

前記決定工程によって決定されるべき前記データ領域の最大サイズおよび最小サイズをデータ領域属性として設定するデータ領域設定工程を更に有し、

前記決定工程は、前記テンプレートおよび前記データ領域属性に従って各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 10 に記載のレイアウト処理方法。

【請求項 12】

複数のデータ領域を有するテンプレートのレイアウトを、該複数のデータ領域の各々に流し込まれるコンテンツデータに応じて動的に変更するレイアウト処理を行う情報処理装置であって、

リンクで関連付けられたデータ領域の集合を抽出する抽出手段と、

前記抽出手段で抽出されたデータ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づく重み付けに応じて各データ領域の領域サイズを決定する決定手段と、

前記決定手段において決定された前記複数のデータ領域の領域サイズに応じて前記コンテンツデータをレイアウトして出力する出力手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 13】

前記決定手段は、計算されたデータ領域の領域サイズと、該データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差が、優先度の高いデータ領域ほど小さくなるように前記複数のデータ領域の各々の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 12 に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

前記決定手段において、算出された前記複数のデータ領域の各々の領域サイズと流し込まれる前記コンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差の比は、該複数のデータ領域の各々に設定された優先度の逆数の比となることを特徴とする請求項 13 に記載の情報処理装置。

【請求項 15】

各データ領域に優先度を設定させるためのインターフェースを提示する設定手段を更に備えることを特徴とする請求項 12 乃至 14 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 16】

指定されたデータ領域と、該指定されたデータ領域とリンクで関連付けられたデータ領域に設定された優先度を表示する表示手段を更に備えることを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 17】

指定されたデータ領域に設定された優先度を表示する表示手段を更に備えることを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 18】

前記決定手段は、

前記データ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求する第 1 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づいて各データ領域の該第 1 方向領域サイズを算出する第 1 算出手段と、

前記コンテンツデータが要求する第 2 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された前記優先度に基づいて各データ領域の該第 2 方向領域サイズを算出する第 2 算出手段とを備え、

前記第 1 算出手段で算出された前記データ領域の該第 1 方向領域サイズおよび前記第 2 算出手段で算出された前記データ領域の該第 2 方向領域サイズに従って、前記データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 12 に記載の情報処理装置。

【請求項 19】

前記決定手段は、

前記データ領域において、縦横比が設定されて場合、前記第 1 算出手段で算出された前記第 1 方向領域サイズおよび前記縦横比から前記第 2 方向領域サイズを決定することを特徴とする請求項 18 に記載の情報処理装置。

【請求項 20】

前記決定手段は、

前記データ領域において縦横比が設定されており、前記第 1 方向が垂直方向であった場合、前記データ領域における垂直方向の領域サイズの算出に応じて、前記データ領域における水平方向の領域サイズを算出する垂直・水平方向領域サイズ算出手段と、

前記第 1 方向が水平方向であった場合、前記データ領域における水平方向の領域サイズ

の算出に応じて、前記データ領域における垂直方向の領域サイズを算出する水平・垂直方向領域サイズ算出手段と、

前記垂直・水平方向領域サイズ算出手段または前記水平・垂直方向領域サイズ算出手段によって算出された前記データ領域の領域サイズから選択された領域サイズをレイアウト結果として設定するレイアウト設定手段とを有することを特徴とする請求項 19 に記載の情報処理装置。

【請求項 21】

前記データ領域をレイアウトすべきレイアウト範囲として、前記データ領域を配置し、前記各データ領域を関連付けるリンクを設定したテンプレートを生成するテンプレート生成手段を更に有し、

前記決定手段は、前記テンプレート生成手段によって生成されたテンプレートに従って、前記各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 12 乃至 20 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 22】

前記決定手段によって決定されるべき前記データ領域の最大サイズおよび最小サイズをデータ領域属性として設定するデータ領域設定手段を更に有し、

前記決定手段は、前記テンプレートおよび前記データ領域属性に従って各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 21 に記載の情報処理装置。

【請求項 23】

複数のデータ領域を有するテンプレートのレイアウトを、該複数のデータ領域の各々に流し込まれるコンテンツデータに応じて動的に変更するレイアウト処理をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムであって、該レイアウト処理が、

リンクで関連付けられたデータ領域の集合を抽出する抽出工程と、

前記抽出工程で抽出されたデータ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づく重み付けに応じて各データ領域の領域サイズを決定する決定工程と、

前記決定工程において決定された前記複数のデータ領域の領域サイズに応じて前記コンテンツデータをレイアウトして出力する出力工程とを備えることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 24】

前記決定工程は、計算されたデータ領域の領域サイズと、該データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差が、優先度の高いデータ領域ほど小さくなるように前記複数のデータ領域の各々の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 23 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 25】

前記決定工程において、算出された前記複数のデータ領域の各々の領域サイズと流し込まれる前記コンテンツデータが要求するコンテンツサイズとの差の比は、該複数のデータ領域の各々に設定された優先度の逆数の比となることを特徴とする請求項 24 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 26】

前記レイアウト処理が、各データ領域に優先度を設定させるためのインターフェースを提示する設定工程を更に備えることを特徴とする請求項 23 乃至 25 のいずれかに記載のコンピュータプログラム。

【請求項 27】

前記レイアウト処理が、指定されたデータ領域と、該指定されたデータ領域とリンクで関連付けられたデータ領域に設定された優先度を表示する表示工程を更に備えることを特徴とする請求項 23 乃至 26 のいずれかに記載のコンピュータプログラム。

【請求項 28】

前記レイアウト処理が、指定されたデータ領域に設定された優先度を表示する表示工程

を更に備えることを特徴とする請求項 2 3 乃至 2 6 のいずれかに記載のコンピュータプログラム。

【請求項 2 9】

前記決定工程は、

前記データ領域の集合に含まれる複数のデータ領域について、各データ領域に流し込まれるコンテンツデータが要求する第 1 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された優先度に基づいて各データ領域の該第 1 方向領域サイズを算出する第 1 算出工程と、

前記コンテンツデータが要求する第 2 方向コンテンツサイズと、各データ領域に設定された前記優先度に基づいて各データ領域の該第 2 方向領域サイズを算出する第 2 算出工程とを備え、

前記第 1 算出工程で算出された前記データ領域の該第 1 方向領域サイズおよび前記第 2 算出工程で算出された前記データ領域の該第 2 方向領域サイズに従って、前記データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 2 3 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 0】

前記決定工程は、

前記データ領域において、縦横比が設定されて場合、前記第 1 算出工程で算出された前記第 1 方向領域サイズおよび前記縦横比から前記第 2 方向領域サイズを決定することを特徴とする請求項 2 9 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 1】

前記決定工程は、

前記データ領域において縦横比が設定されており、前記第 1 方向が垂直方向であった場合、前記データ領域における垂直方向の領域サイズの算出に応じて、前記データ領域における水平方向の領域サイズを算出する垂直・水平方向領域サイズ算出工程と、

前記第 1 方向が水平方向であった場合、前記データ領域における水平方向の領域サイズの算出に応じて、前記データ領域における垂直方向の領域サイズを算出する水平・垂直方向領域サイズ算出工程と、

前記垂直・水平方向領域サイズ算出工程または前記水平・垂直方向領域サイズ算出工程によって算出された前記データ領域の領域サイズから選択された領域サイズをレイアウト結果として設定するレイアウト設定工程とを有することを特徴とする請求項 3 0 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 2】

前記レイアウト処理が、前記データ領域をレイアウトすべきレイアウト範囲として、前記データ領域を配置し、前記各データ領域を関連付けるリンクを設定したテンプレートを生成するテンプレート生成工程を更に有し、

前記決定工程は、前記テンプレート生成工程によって生成されたテンプレートに従って、前記各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 2 3 乃至 3 1 のいずれかに記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 3】

前記決定工程によって決定されるべき前記データ領域の最大サイズおよび最小サイズをデータ領域属性として設定するデータ領域設定工程を更に有し、

前記決定工程は、前記テンプレートおよび前記データ領域属性に従って各データ領域の領域サイズを決定することを特徴とする請求項 3 2 に記載のコンピュータプログラム。